

報道關係各位

SKRテクノロジー ニーモニックセキュリティ、重要施設向けキオスク
ステーション型
入室管理システムを発表

懐かしいイメージ記憶を活用する本人認証ソフト「ニーモニックガード」の開発元であるニーモニックセキュリティ（本社：大阪、代表：國米仁）は、SKRテクノロジー（本社：東京、代表：関本明史）が開発した非可視化画面組込みキオスクステーションを使用した金融業界向け入室管理システムの販売を開始し、2月22日にオープンした池田銀行様の新営業拠点「大阪梅田池銀ビル」の3階プライベートバンキングサロン向けに製品第1号を納入しました。

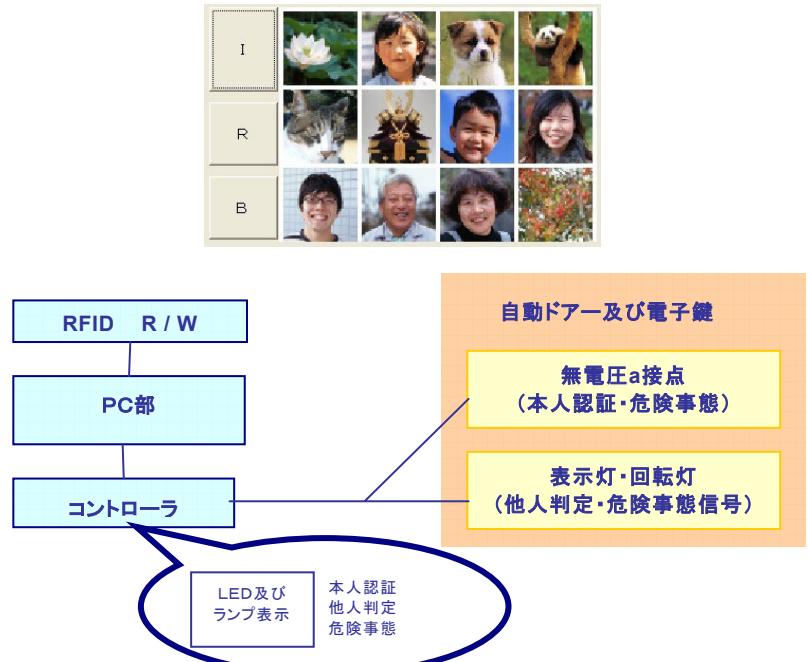
認証操作をする訪問者以外には操作画面の目視は不可能

異常事態探知時や不正侵入断定時には警備室に自動通報

プライベートバンキングサロンを訪れたVIP顧客は、キオスクステーションのカードリーダー部に持参のVIPカード（ICチップ内蔵）をかざすとその顧客固有の認証画面が表示されます。しかしこの画面は肉眼では見ることができません。VIP顧客は可視化グラスを通して見える認証画面上で認証画像（パスシンボル）を指先でタッチして認証を行います。周囲の人には真っ白の画面の上を指先が動き回っているとしか見えません。

背後に不審者の気配を感じた時には認証画像の後に異常事態通報画像を押すと、不審者には知られることなく警備室に異常事態を自動通報するよう設定されています。その場合、扉は何事もなかったかのように開き、不審者も共連れで入ってくるでしょうが、既に警備室は異常事態の対応を開始しています。また、V I P カードを不正取得した第三者が侵入を試みて正規顧客が間違うはずのないような認証操作を何度か犯した場合は、他人断定信号が警備室に届きます。

＜ 非可視化画面組込みオスクレーション ＞ ＜ 認証画面の例 ＞



なお、今回、「大阪梅田池銀ビル」へは、N T T コミュニケーションズ株式会社 関西営業本部が設計、構築、導入を行い、警備システムと連動して運用しております。

ニーモニックガードとは

いつでもどこにでも自由に持ち歩くことが要請される電子的本人確認手段は、時と場所を選ばない無制限の脅威に曝され続けています。従って、本人認証システムには、最先端のIT知識と古今の戦略戦術論で武装した悪知恵に長けた頭脳集団の執拗な組織的攻撃にも耐える強靭さが必要です。

どんなに頭の良い攻撃者がいかに手の込んだ攻撃方法を考え出しても、個々人それぞれが長い人生の中で蓄積してきた無尽蔵ともいえるその人固有の記憶をその人の**主観的な文脈通り**に取り出すことはできません。本人であれば簡単に主観的な文脈通りに取り出せる秘密情報、それは過去の懐かしい記憶です。ニーモニックガードはこうした過去の懐かしい記憶をイメージし活用することで、人格の尊厳を損なうことなくストレスのない安心で確実な本人認証を実現します。

(株) ニーモニックセキュリティ

当社は、N T T コミュニケーションズ株式会社が提供しているオンライン決済サービス（CoDenペイメント）標準ユーザ認証の提供元です。暗号鍵の保管問題に原理的な解を提供する本人認証と暗号技術の一体化技術、個人情報を活用する匿名通信ネットワーク技術、SSLが抱える弱点を克服するサーバ・端末相互認証技術などを包括した「ヒューマンクリプト情報セキュリティ基盤」の実用化事業を進めて、老若男女の誰でもがストレスなく情報セキュリティの恩恵を受けることのできる社会の実現を目指します。尚、日本セキュリティ・マネジメント学会から2006年度の学会論文賞を受賞しています。

URL <http://www.mneme.co.jp>

(株) SKRテクノロジー

URL <http://www.skr-tech.co.jp>

我が社の特色

ユビキタス社会における情報管理・情報提供に最適なディスプレイを提案するため、一步先を行くフラットパネルディスプレイの用途開発に取り組んでいます

主な製品とその特徴

マルチセキュリティシステム :

ICカードと思い出の画像を組みあわせたパスシンボルを使って本人確認を行うことによって、利用者自身はパスシンボルを忘れてしまうというストレスから解放されるとともに、他人による類推を排除する、安心・安全かつ確実な入室管理システム

ICカード・タグ対応コンテンツ配信システム :

タッチパネル付き情報端末を使用した情報配信システム。ICカード登録者が端末に内蔵されたリーダーにICカードを近づけると、スクリーンセイバーを兼ねた画面に代わって専用コンテンツが起動し、タッチパネル操作で詳細情報を入手できる仕組みです。ネットに接続すると最新コンテンツのみをダウンロードするASP配信と組み合わせると、情報更新に便利です。